



アーバンライティング



<施設の概要>  
 所在地：宮城県本吉郡津山町柳津地区  
 道路延長：約1.5km  
 施主：宮城県津山町  
 施工：東芝ライテック(株)  
 竣工：平成15年4月

## 地元産の杉の木を街路灯のポールに採用し、 周辺環境との調和のとれた温かみのある親しみ感の強い景観照明が実現

地元産の杉の木を街路灯に採用し、町の活性化に貢献

宮城県津山町は国道45号線と国道342号線の分岐箇所に位置し、北上川の水資源に恵まれた杉の木の名産地として知られています。この津山町は最近、特に人口の過疎化が進み、その対策事業の一つとして町内柳津地区の街道約1.5kmにわたってユニークな街路灯が新設され、夜の街道を温かみのある明かりで照らし町の活性化に貢献しています。

この街道には、旧来は蛍光ランプの防犯灯が設置されており、逐次追加増設されていたものの、満足な明るさが確保されておらず、統一性にも欠けていました。

今回新設された街路灯は、住宅地域を考慮して150W高演色形高圧ナトリウムランプ2灯用ニューストリートライトを使用し、上方光束比15%以下で天空への光漏れを防止しています。ポール(H:4.5m)には地元産の杉を円形状に4面張りとし、防腐処理を施して耐久性をもたせており、袴部には縦縞仕様FB付のシンプルで飽きのこないデザインにして落ち着いた雰囲気を出しています。

このユニークな街路灯を街道延長約1.5kmにわたって照明柱タイプ39基を千鳥配置で設置しており、さらに電柱共架タイプ7基を使用しています。これにより、材木の町にふさわしい周辺環境と調和のとれた温かみのある景観照明が創り出されており、町の活性化に一役かっています。

### 照明コンセプト

Lighting design concept

夜の街道を温かみのある明かりで照らし町の活性化に貢献

地元産の杉の木を利用して、材木の町にふさわしい周辺環境と調和のとれた景観照明の実現化



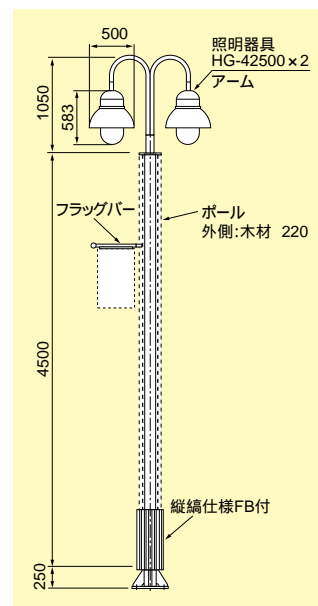
ポールに地元産の杉を4面張りした街路灯が周辺環境と調和をとりながら温かみのある景観照明を実現



灯具に2灯用ニューストリートライトを採用し、天空への光漏れを防止している



高さ4.5mの特注街路灯



街路灯姿図

### 街路灯一覧

街路灯タイプ	灯具形名	基数	ランプ
照明柱タイプ(H=4.5m)	ニューストリートライトHG-42500(改)	39	150W高演色形高圧ナトリウムランプ x 2
電柱共架タイプ	ニューストリートライトHG-42500(改)	7	